

# 深海における適切な環境保全のための 環境影響評価に貢献します

日本近海の深海底にはメタンハイドレートや海底熱水鉱床などの資源が眠っています。沖合域では海底下CCSや洋上風力発電の展開も議論されています。こうした深海や沖合における開発は、未来の持続可能な発展の鍵を握るものであり、同時に環境影響を最小化することも課題となります。この課題に対して、当社は専門知識と技術を駆使し、適切な環境保全のための環境影響評価に資するデータを提供します。



ROVによる深海環境調査

## ◆豊富な経験を活かした環境調査を提案・実施します

当社は1990年よりハワイ沖のマンガン団塊やメタンハイドレートなどを対象とした調査に参画し、深海における環境調査について豊富な経験を有しています。この経験を活かした計画の立案、調査や分析・解析までを一貫して実施します。



プッシュコアラーによる採泥

## ◆映像解析から生物分布を可視化します

生物の個体数、種数、生態情報（生活様式など）の分析から、生物への影響の程度を把握するためのデータを提供します。例えば、底生生物の分布についてはGISなどを用いて分布の特性・影響の程度を可視化し、影響評価に有用なデータを提供します。

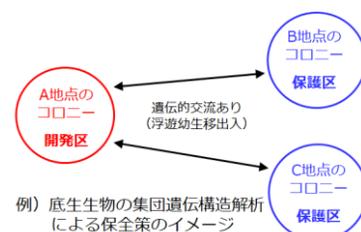


ROV映像による深海生物観察

## ◆環境保全措置に資するデータを提供します

環境アセスメントの環境保全措置には影響の回避・低減・代償があります。影響を回避するための検討や、低減手法の1つとして、保全対象とする生物の集団遺伝構造を解析し、開発区に対して保護区を設定するゾーニング法などを検討します。

そのためには、正確な生物分類と分布情報から、対象海域の特徴を把握することが重要です。当社は生物の分類技術や映像解析、DNA解析により、これら保全措置の検討に資するデータを提供します。



提供  
する  
サー  
ビス

※ROVと周辺機器は深田サルベージ建設株式会社所有

関連発表・論文

Matsui, T., Sugishima, H., Okamoto, N., & Igarashi, Y. (2018). Evaluation of turbidity and resedimentation through seafloor disturbance experiments for assessment of environmental impacts associated with exploitation of seafloor massive sulfides mining. In ISOPE International Ocean and Polar Engineering Conference (ISOPE-I). ISOPE.



株式会社 日本海洋生物研究所

MARINE BIOLOGICAL RESEARCH INSTITUTE OF JAPAN Co., Ltd.

〒142-0042 東京都品川区豊町4丁目3番16号

TEL 03-3787-2471 E-mail mbrii@mbrii.co.jp